

主題	「寝たきりからの脱出」		
副題	～温泉に行こう～		
ADL の向上		本人の希望に沿った援助	
研究期間	50月	事業所	特別養護老人ホーム・水元ふれあいの家
発表者：植木 彩加（うえき あやか）		アドバイザー：	
共同研究者：杉山裕実子、中村圭士			
電 話	03-3607-7881	メール	fureai-no-ie@jinseisha.jp
FAX	03-3627-0151	URL	http://www.jinseisha.jp

今回発表の 事業所や サービスの 紹介	〒125-0032 葛飾区水元1-26-20 昭和63年 開設(平成13年度 葛飾区より移管) 利用定員 90名 良好な交通の便をはじめ、さまざまな面で恵まれた環境の中、ご利用される方が健やかに生活できるようスタッフ一同心を込めてお手伝いさせていただいております。
------------------------------	--

《1. 研究前の状況と課題》

水元ふれあいの家では、利用者様のADL向上を願いつつも、日々の業務の忙しさに追われ、入所当時の現状を維持していくようなケアや、ADLの向上が見られても、それは利用者様本人の努力として結果的に向上していたものであり、職員が積極的に介入したケースは少なかった。

その結果、利用者様がリハビリなどを行っても目標がはっきりせず、意欲的に訓練を行う方が少なくなってきたことが課題であった。

《2. 研究の目標と期待する成果・目的》

利用者様の意欲を職員が汲み取り、希望に沿って積極的かつ計画的に援助していくことで、より一層意欲が高まり、効率的にADLの向上、ひいてはQOLの向上につながるのではないかと考え、今回の取り組みを行うに至った。

《3. 具体的な取り組みの内容》

① 対象者 E様（現在85歳）

平成20年入所

入所当時のADL

ベッド上にてほぼ寝たきり

移乗：全介助

排泄：常時オムツ全介助

入浴：特殊浴槽 全介助

② 経過

入所当時はほぼ寝たきりの状態であったE様から「リハビリに参加したい」との訴えが聞かれるようになった。

しかし、運動制限とリハビリをするだけの体力が無かった為、看護師・機能訓練指導員と相談し、ベッド上での関節可動域訓練から開始すると共に車椅子へ座れる時間を徐々に増やしていった。

H21年2月 脈拍をみながら車椅子からの起立訓練を開始する。

H21年5月 「トイレに行きたい」との希望があり、トイレでの排泄に向けた計画を立てる。

H21年8月 頭の体操として、計算・漢字ドリルを開始すると、徐々に日常生活での意欲も向上し、編み物・縫い物にも興味を持ち始める。

H23年1月「一般浴に入りたい」との希望があったため機能訓練指導員と話し合い、浴室内の階段を使用するための昇降訓練を開始する。

H23年3月一般浴での入浴が可能になる。

H23年5月トイレでの排泄が自立。

H23年11月ベッド・車椅子間の移乗が自立する。

職員との交換ノートより「娘と温泉に行きたい」との希望があり、ご家族に相談したが連れて行くことへの不安をもたれていた。これに対し、ご家族の不安を取り除くため、また、本人の予行練習も兼ね、職員2名付き添いのもと健康センターへ行き、その様子と注意点を伝えた。

《4. 取り組みの結果と考察》

○ ADLの変化

	【入所当時】		【現在】
移乗：	全介助	→	自立
排泄：	全介助	→	自立
入浴：	特殊浴槽	→	一般浴
	全介助		浴室内の移動以外自立

○ 意欲向上

- ・定期的にご家族に手紙を書くようになった。
→ご家族の面会の機会が増える。
- ・「娘と温泉に行きたい」との希望に対して、現在温泉へ行く計画を立ててくださっている。

《5. まとめ、結論》

計画・実施・反省・振り返りのサイクルを何度も繰り返し、少しずつではあるがADLやQOLを向上させることが出来た。

「家に居る頃は寝てばかりであり活動的でなかった」（ご家族の話より）が何事にも積極的になり、前向きに生きたいという姿が見られるようになった。

また、利用者一人一人の生活の幅を広げたり、ゆっくりと前に進んだり一緒に歩いていくことが介護という仕事をする上での楽しさ・喜びであることを感じる事が出来た。

今回の取り組みを他の利用者様のQOL向上にもつなげていきたいと思う。

《6. 倫理的配慮に関する事項》

本研究発表を行うにあたり、「本研究発表以外では使用しないこと、それにより不利益をこうむることはないこと」をご本人とご家族双方に口頭で説明。匿名であることを条件に、写真の使用についても同意を得た。

《8. 提案と発信》

介護の仕事は「きつい」「つらい」ということが取り上げられることが多いが、今回の研究を介護の仕事をする上での「楽しみ」とは何なのかを考えるきっかけにいただければ幸いです。

【メモ欄】